

国保だより

国保制度(全国)の現状

昭和36年以来、国保制度は国民皆保険の基盤として国民に対する医療の確保や健康維持・増進に大きく貢献してきました。しかし、現在の市町村国保は少子高齢化や就業構造の変化、景気低迷の影響を受けて、財政運営が非常に厳しくなっています。

また、国保世帯主の職業においては、農林水産業の従事者が大幅に減り、パートなどの非正規雇用者(被用者)や無職者が大幅に増加していることで、国保世帯の所得が少なくなっていることも、国保が赤字になっている原因の一つと考えられます。

国保運営安定化計画の策定に向けて

市町村国保の収支状況(22年度)

国保が赤字となっている市町村は、過半数を超えています。

市町村総数	黒字市町村	赤字市町村	赤字市町村の比率(%)
1,721	820	901	52.4

一般会計からの繰入金

赤字補てんや、保険税の負担増を抑えることなどを目的とした基準外繰入れは、全国的に増加の傾向にあります。

	基準繰入金	基準外繰入金	合計
21年度	6,972	3,601	10,573
22年度	7,592	3,980	11,572

国保・協会けんぽ・組合健保の比較(22年度)

市町村国保は、他の制度と比較すると、高齢者の比率が高いことから、一人当たり医療費が大きく、加入者の所得に対する保険料負担は重くなっています。

	市町村国保	協会けんぽ	組合健保
加入者数	3,549万人	3,485万人	2,961万人
平均年齢	49.7歳	36.3歳	34.0歳
65~74歳の割合	31.3%	4.8%	2.6%
一人当たり医療費	29.9万円	15.6万円	13.8万円
一人当たり平均所得	84万円	137万円	195万円
一人当たり平均保険料(事業主負担込)	8.1万円	9.7万円 [19.3万円]	9.3万円 [20.7万円]

市の国保事業の現状と課題

市の国保事業運営は、高齢者や低所得者が多いことや、景気の低迷から国保税の伸びが期待できない反面、医療費は年々増加しており、財源不足は非常に深刻なものとなっています。

国保事業の安定化に向けた取り組み

市の国保事業の現状と課題をふまえて、市民が将来にわたり安心して医療を受けることができる環境を整えるため、国保事業の運営安定化に向けて、以下の項目について取り組んでいきます。

医療費適正化の推進

★資格の適正化
医療費の適正化を図る上でもっとも重要な被保険者の資格管理を徹底するため、健康保険加入者と離脱者に確認の通知を行います。また、世帯主が健康保険である国保加入者への健康保険被扶養者認定を勧めます。

★ジェネリック医薬品使用促進

ジェネリック医薬品については、患者負担の軽減や医療保険財政の負担の減少につながることから、ジェネリック医薬品の使用促進に積極的に取り組めます。

★重複多受診者に対する保健指導

同一疾病でありながら、病院を替えて受診する重複多受診者や、月に何度も受診を繰り返す頻回受診者をレポートから抽出し、適切な受診の指導や保健指導を行います。

保健事業・健康づくり事業の推進

特定健診未受診者に対して、保健師や健康推進員の個別訪問による受診勧奨、開催時期に合わせたのハガキや電話での受診を勧めます。また、生活習慣病の一次予防に重点を置いた取り組みとして、20~30歳代に対する健診や生活習慣病予備軍への保健指導を実施し、健康に対する意識の向上を図り、将来の重症化予防に向けて取り組みます。

財源の確保

★財源確保による収支計画

24年度と25年度については、財源不足額をすべて一般会計からの繰入れによって補います。26年度については、一般会計からの繰入れと、一部は国保税率の見直しにより財源不足を補います。また、国保税率の見直しにあたっては、国保世帯の所得に対する介護保険料を含めた負担の状況や、他市の国保税率の状況などを総合的に検討し、税率を考えます。

単年度ごとの収支見込みと財源対策 (単位:百万円)

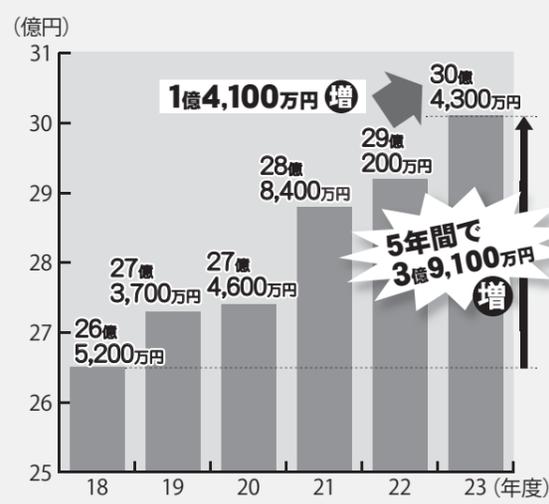
	24年度見込	25年度見込	26年度見込
歳入合計	4,453	4,502	4,551
歳出合計	4,502	4,573	4,644
収支	▲49	▲71	▲93

※基準外…40 基金…9
※基準外…71 基準外+一部国保税

※基準外=基準外繰入金赤字補てん ※基金=基金繰入

医療給付費の推移

医療給付費は、合併当初の18年度と23年度を比較すると、3億9,100万円増加しています。増え続ける医療費が、国保運営をより一層圧迫しています。



国保加入者数・世帯数(23年度)

国保加入者は市全体の3割、世帯数は市全体の4割となっています。加入者数・世帯数ともに若干の増加傾向にあります。

人口(人)			世帯数(世帯)		
市全体	国保加入者	加入率(%)	市全体	国保世帯	加入率(%)
34,326	10,131	29.5	14,343	5,634	39.3

年齢構成の変化

年齢が高くなると傷病率も高く、年齢構成の高年齢化が医療費増加の原因の一つと考えられます。

	21年3月末	構成比(%)	24年9月末	構成比	増減率
国保加入者総数(人)	10,412	100.0	10,102	100.0	▲3.0
うち60歳未満	5,525	53.1	4,886	51.9	▲11.6
60~74歳	4,887	46.9	5,216	48.1	6.7

計画案へのご意見を募集しています

計画案は、市役所総合窓口と各支所のいづれかセンター・図書館にそれぞれ閲覧用で1部と配布用で10部置いています。また市のホームページでも公開しています。

■意見の提出方法
計画案に意見提出用紙を付けています。市民保険課国保係もしくは各支所での提出・郵送・ファクス、電子メールのいずれかの方法でお願いします。

※電話や口答での意見は受付いたしませんので、ご了承ください。

■募集期間：平成25年1月15日(火)まで

■意見の取り扱い：意見募集は、市民の皆さまから広く意見を収集し、国保運営協議会での計画しへの参考にさせていただきます。個人の見解に対する回答はいたしませんので、ご了承ください。